

木曽路安全ニュース

9月

発行 木曽郡防犯協会連合会
木 曽 警 察 署
TEL 22-0110

きのこ採り遭難防止

9月から10月 県内

きのこ採り目的で入山

遭難

(道迷い
急斜面で滑落して死傷)

多発!

注意点

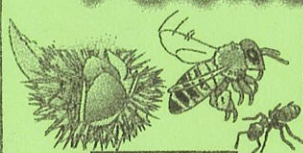


- 1 単独入山、入山後の単独行動は避けましょう
- 2 入山場所と予定を家族等に伝えましょう
- 3 携帯電話(GPS機能をONに!)や防寒着やヘッドライト、食料等を持って行きましょう
- 4 急な斜面に入り込まないようにしましょう
- 5 熊などの野生動物に注意しましょう



山だけではありません

人間の生活圏への熊の出没が後を絶ちません!



クマとのトラブルを防ぐために

例

食べ物

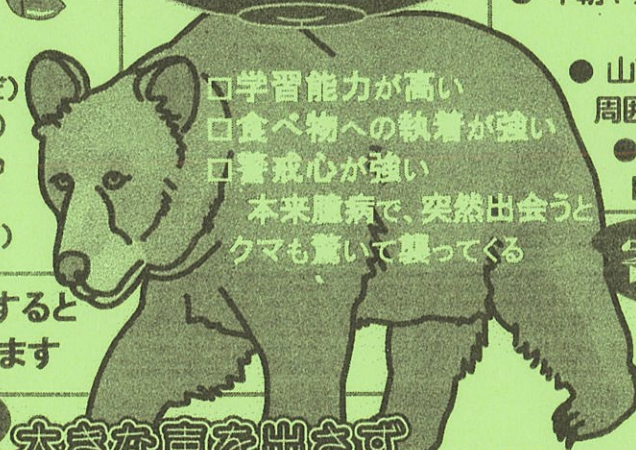
9割以上は植物

山菜(フキ、タケノコ、木の芽など)
昆虫類(アリ、ハチ、セミの幼虫など)
果実類(野いちご、桑の実、さるなしなど)
木の実(ブナ、ドングリ、栗、クルミなど)
動物の死骸
農作物
甘いもの(ハチミツ・アイスクリームなど)



クマを知る

- 学習能力が高い
- 食べ物への執着が強い
- 警戒心が強い
- 本来臆病で、突然出会うとクマも驚いて襲ってくる



出会わない

- 人の存在を知らせるため、音の出るもの(クマ鈴、ラジオなど)を身につける
- 早朝や夕方に外出する際は注意する(クマの行動が活発になる)
- 山菜採りなどに夢中にならずに、周囲の音に注意する
- 新しいふんや足跡を見つけた時は、すぐに引き返す など

寄せ付けない

クマを人里に寄せ付けないよう、クマの食べ物となるようなものは除去しましょう

- 生ごみ、農作物を放置しない
 - 果物(柿など)は早めに収穫する
 - 農作物、養蜂は電気柵で防ぐ
 - クマの隠れ場所をつくらない
- 森林の境界の下草刈りや耕作放棄地の管理



冬眠前の秋に山の実りが不足すると
食べ物を求めて人里に出没します

出会っても
落ち着いて行動

大きな声を出さず
まずは、落ち着いて
距離をとって!

遠くにいる場合 静かにその場から立ち去りましょう

クマが先に人の存在に気付けば、ほとんどの場合、クマの方から逃げていきます

近くでバッタリ ゆっくり後ずさりして離れましょう

- 背中を見せて逃げない
- 大声で叫んだり、石などを投げつけたりしない
- 死んだふりは効きません

襲ってきた... クマ自身も怖がっている

- 可能なら、ゆっくり後ずさりして離れる
 - クマ撃退スプレーを使用する
 - 防御姿勢をとる
- 人間の急所(顔、喉、後頭部、腹など)を守る
姿勢(伏せて両手で首の後ろをガードする など)